

<総合問題>

総合問題

(総合問題 1)

次の事例を読んで、問題 114 から問題 116 までについて答えなさい。

[事 例]

Aさん(70歳, 男性)は, 妻と二人で暮らしている。旅行や釣りが趣味で, 会社員として勤務していたころは, 活動的な生活を送っていた。66歳のときにパーキンソン病(Parkinson disease)と診断されたが, 内服治療が開始され, 症状はあまり気にならなかった。1年前から顔の表情が乏しくなり, 歩行開始時に, はじめの一歩が出にくくなった。3か月前からは, 歩き始めると方向転換が難しく, 急に止まることができないことがある。

Aさんは, 今後の生活について相談するために, 地域包括支援センターに行った。センターで対応してくれたB主任介護支援専門員は, 介護福祉士としての実務経験が豊富だった。Aさんは信頼して, 気になっていたことをすべて話すことができた。Aさんは, 要介護認定を申請することを勧められ, 後日, 市役所に行き, 要介護認定の申請を行った。

問題 114 現在のAさんの症状に該当するホーエン・ヤール重症度分類として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 ステージⅠ
- 2 ステージⅡ
- 3 ステージⅢ
- 4 ステージⅣ
- 5 ステージⅤ

問題 115 要介護認定を申請してから2週間が経過した。Aさんは要介護認定の認定結果が届かないことが気になった。そこで、以前に対応してくれたB主任介護支援専門員に電話で相談した。

次のうち、B主任介護支援専門員の応答として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 「次の受診時に主治医に相談しましょう」
- 2 「通常1か月程度かかるので、あと2週間くらい待ってみましょう」
- 3 「以前に自宅に来てくれた認定調査員に相談しましょう」
- 4 「念のためにもう一度要介護認定を申請してください」
- 5 「通常であれば認定結果は出ていると思います」

問題 116 最近, Aさんは急に体の動きが悪くなる時間帯があり, 不安を感じた。そこでAさんは, 週に2回利用している訪問介護員(ホームヘルパー)に相談した。相談を受けた訪問介護員(ホームヘルパー)はAさんに, 日々の症状の変化とその時間, さらにもう一点をメモして, 医師に伝えるようにと助言した。

日々の症状の変化とその時間に加えて, Aさんが医師に伝える内容として, 最も優先度の高いものを1つ選びなさい。

- 1 服薬の時間
- 2 起床の時間
- 3 食事の時間
- 4 排便の時間
- 5 入浴の時間

(総合問題 2)

次の事例を読んで、問題 117 から問題 119 までについて答えなさい。

〔事 例〕

Cさん(90歳、女性)は、動物好きで長年ペットのオウムを飼っている。5年前に夫が亡くなったときも、ペットが大きな心の支えになった。2年前、身体の衰えから買物や調理などの家事が難しくなり、一人暮らしが困難になったので、ペットと入所できる健康型有料老人ホームに入所した。

最近Cさんは、毎週楽しみにしていたレクリエーションがある曜日や時間を忘れてしまう、トイレの場所がわからず失禁するなどの症状が繰り返し生じるようになってきた。心配した娘がCさんと病院を受診したところ、アルツハイマー型認知症(dementia of the Alzheimer's type)と診断を受けた。

健康型有料老人ホームでは対応が困難になってきたため、心配した娘はCさんが入所できる施設に移ることを検討し始めた。

問題 117 次のうち、最近のCさんの症状に該当するものとして、最も適切なものを

1つ選びなさい。

- 1 妄想
- 2 見当識障害
- 3 失語
- 4 遂行機能障害
- 5 観念失行

問題 118 娘はCさんの病状を心配して、「お父さんが残してくれた貯金があるから、もっとお母さんのお世話をしてくれる施設に移ろう」と提案した。Cさんは、「ペットと一緒に暮らせなくなるのは嫌だ」とつぶやき、うつむいた。困った娘は健康型有料老人ホームの介護福祉士に相談した。

次のうち、娘への介護福祉士の応答として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 「Cさんがペットを大事にしている意思を尊重してはいかがですか」
- 2 「Cさんが新しい施設に行くことが最優先です」
- 3 「あなたの意向を優先してはいかがですか」
- 4 「Cさんがペットを飼うことは優先度の高いニーズとは言えません」
- 5 「Cさんが新しい施設に行くことを受け入れるように説得してください」

問題 119 Cさんと娘は介護福祉士と相談し、希望に沿った施設を見つけることができた。

次のうち、Cさんが入所する施設として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 経過的軽費老人ホーム(B型)
- 2 介護医療院
- 3 介護老人保健施設
- 4 養護老人ホーム
- 5 介護付有料老人ホーム

(総合問題 3)

次の事例を読んで、問題 120 から問題 122 までについて答えなさい。

〔事 例〕

Dさん(男性, 障害支援区分4)は, ベッカー型筋ジストロフィー(Becker muscular dystrophy)である。自宅で家族と生活をしている。Dさんは, 食事は自立しているが, 排泄, 入浴に介護が必要である。歩行はできず, 移動は電動車いすを使用している。絵を描くことが趣味であり, 日中は創作活動に取り組んでいる。

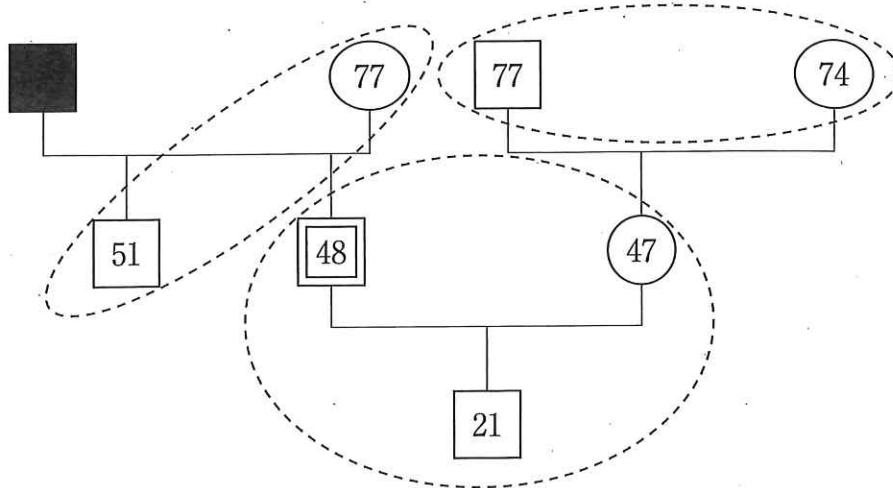
これまでDさんは自宅で家族の介護を受けながら生活してきたが, Dさんの身体機能の低下に伴い, 家族の介護負担が増えたため, 居宅介護を利用することになった。

問題 120 Dさんの疾患で生じる病態として, 適切なものを1つ選びなさい。

- 1 筋線維の変性
- 2 運動神経の変性
- 3 網膜の変性
- 4 自己免疫の低下
- 5 脳細胞の変性

問題 121 E居宅介護事業所に勤務するF介護福祉職は、Dさん宅を初回訪問するにあたりフェイスシートのジェノグラムを確認した。

以下のジェノグラムからF介護福祉職が把握した内容として、適切なものを1つ選びなさい。



- 1 Dさんは、Dさんの母親と同居している。
- 2 Dさんには息子がいる。
- 3 Dさんの兄は結婚している。
- 4 Dさんの父親は生存している。
- 5 Dさんの妻には兄弟姉妹がいる。

問題 122 Dさんが居宅介護を利用してから数年が経過し、Dさんの身体機能は徐々に低下して、着替えに時間がかかるようになった。Dさんは自分のことはできるだけ自分で行いたいという思いがあり、時間がかかっても自分で着替えをしていた。

ある日、DさんはF介護福祉職に、「着替えをすると疲れてしまい、絵を描くことができない」とつぶやいた。F介護福祉職は、「着替えは私たちや家族の介護を利用して、Dさんは好きな絵を描いたらいいのではないですか」と伝えた。その後、Dさんは介護福祉職と家族の介護を利用して、短時間で着替えを済ませ、絵を描くことに専念できるようになった。

F介護福祉職が発言した自立観を示した人物として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 ヴィクトール・フランクル(Frankl, V.)
- 2 バンク－ミケルセン(Bank-Mikkelsen, N.)
- 3 エド・ロバーツ(Roberts, E.)
- 4 フェリックス・バイステック(Biestek, F.)
- 5 ミルトン・メイヤロフ(Mayeroff, M.)

(総合問題 4)

次の事例を読んで、問題 123 から問題 125 までについて答えなさい。

〔事例〕

Gさん(38歳, 女性)は, 母親(65歳)と暮らしていた。両側性感音難聴(sensorineural hearing loss)があり, 雑音がある場所では話を聞き取りにくい。相手の口の動きや表情から会話の内容を理解することはできる。Gさんは, 脳梗塞(cerebral infarction)を発症し, 左片麻痺ひだりかたまひで車いすの生活となり, 障害支援区分4と認定された。母親による介護が難しくなったため, 障害者支援施設に入所することになった。

Gさんは, 写真を撮ることが好きで, 施設で近くの公園に出かけたときに, 介護福祉職に手伝ってもらいながら好きな風景を撮影している。Gさんは, その写真をアルバムにして, 母親にプレゼントしたいと考えている。

ある日, Gさんから, 「アルバムを作りたい。飾りの付け方やメッセージの書き方を教えてほしい」と相談があった。介護福祉職は, Gさんとアルバムを作ることにした。

問題 123 次のうち, Gさんが施設入所支援と同時に利用している障害福祉サービスとして, 適切なものを1つ選びなさい。

- 1 自立生活援助
- 2 療養介護
- 3 短期入所
- 4 生活介護
- 5 居宅介護

問題 124 次のうち、Gさんの難聴の原因となっている損傷部位に該当するものとして、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 内耳から聴神経
- 2 外耳道から中耳
- 3 耳介から中耳
- 4 耳介から外耳道
- 5 耳介

問題 125 次の記述のうち、Gさんに介護福祉職がアルバムの作り方を説明するとき、に配慮することとして、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 Gさんの左側に座る。
- 2 閉じられた質問を用いる。
- 3 小さな声で話す。
- 4 Gさんの好きな音楽を流す。
- 5 1対1で向かい合って話す。